



Higashi Sapporo
Hospital's
Newsletter MADO

October 2024 No.118



Higashi Sapporo Hospital
医療法人
東札幌病院

2024年10月発行
発行責任者／病院長 日下部俊朗
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
TEL.011-812-2311 (代表)
FAX.011-823-9552
E-mail : info@hsh.or.jp
HP : <https://www.hsh.or.jp>

「第5回がん緩和ケアに関する国際会議」のご案内

新しい時代を迎えようとしている がん緩和ケア

医療法人東札幌病院
理事長 石谷 邦彦



“がん緩和ケアのオリンピック”とも称される「がん緩和ケアに関する国際会議:Sapporo Conference for Palliative and Supportive Care in Cancer (SCPSC)」は、2026年7月に開催される第5回SCPSCのプログラムを確定しご案内の運びとなりました。

ここ数年来、私は緩和ケアの研究と実践がターニングポイントを迎えていると各所でお話してきました。その根拠の一つは、がん、神経難病、慢性心不全、また昨今のCOVID-19感染症などさまざまな疾患に特異的な緩和ケアを専門的に提供し、かつそれらの独自の科学研究を行う施設・研究者が誕生している現状に依ります。今一つは国・地域の実情や施設の思想により意図的に全ての疾患を対象とする非特異的な緩和ケアを提供する施設・医療者の存在です。この後者の事実は世界の保健医療行政の上で大きな意味を持っています。

第5回SCPSCのプログラムは、前者の現況を鑑みてpalliative oncologyとpsycho-oncologyの革新的なプログラムの編成を試みました。そして見事に期待していた通りのそれぞれの分野の革新的な研究者の登場を得ることが出来ました。すなわちすでにターニングポイントの時期を経て、新しい緩和ケアの研究と実践の時代であることを実感しているところです。

その基本となる4つのシンポジウムの企画は以下の方々に依頼しました。

「1. オピオイド」に関する企画はDr. Russell PortenoyとDr. David Huiが、「2. 免疫療法を含め化学療法などの緩和的がん治療」に関する企画はDr. Areej El-JawahriとDr. Shunichi Nakagawaが、「3. psycho-oncology」の企画はDr. Friedrich StiefelとDr. Sarah DauchyそしてDr. Camilla Zimmermannが、「4. 安楽死問題」の企画はDr. Luc DeliensとDr. David Currowが考案し、それぞれ非常に革新的な内容となっています。詳細はSCPSCのホームページをご覧ください。

SCPSC Webサイト▶

<http://www.sapporoconference.com>



また2023年12月22日に発刊したニュースレター「IRS-SCPSC News Letter」で述べたように、一般演題の発表は口演セッションとポスターセッションの二部構成とし専門家を交えての教育的な運営を計画しています。ここに多くの方々の演題の応募を期待しています。その他教育講演としてDr. Karen Steinhauserによる「スピリチュアリティ、スピリチュアル・ケアの比較文化学」を予定しています。特別講演にはDr. Herwig Czechによる「The Lancet Commission on medicine, Nazism, and the Holocaust: historical evidence, implications for today, teaching for tomorrow」が確定しています。このテーマは緩和ケア、医学・医療にのみならず、延いては現代の世界のカオスに対し重要な示唆を与えるものと思います。

SCPSCは3年毎にがん緩和ケアに携わる世界の一流のリーダー達が重要な課題について競合的ではなく議論し合う場となっています。そのため“がん緩和ケアのオリンピック”と親しみを込めて言われています。palliative oncologyとpsycho-oncologyに関係する方々、そしてがんに限らず他の疾患の緩和ケアに携わる多くの方々のご参加を期待申し上げる次第です。

令和5年度東札幌病院業績

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

医局

英語論文

1. Korai T, Okita K, Okuya K, Hamabe A, Miyo M, Akizuki E, Sato Y, Ishii M, Miura R, Ito T, Nobuoka T, Takemasa I. Development of an ultralow-latency communication system using shared internet access: promoting the implementation of telemedicine. Surg Today. 2023 Apr;53(4):522-525. doi: 10.1007/s00595-022-02602-8. Epub 2023 Jan 10.

日本語論文・原著

1. 山口洋志、柏木清輝、鬼原 史、空閑陽子、伊藤智子、渡邊奈々恵、近藤信夫、今村将史、永山 稔、信岡隆幸、木村康利、大村東生、秦 史壯、竹政伊知朗
「門脈血栓症を合併したmodified Hinchey IIの結腸憩室炎に対して待機的手術を施行した1例」
日本消化器外科学会雑誌 2023.7, 56巻7号409-418.
2. 大村東生、空閑陽子、三原大佳
「50歳未満で死去された乳がん女性の病態と終末期像の検討」
第48回札幌市医師会医学会誌 2023, 97-98.
3. 笠巻喜郎、安藝史典、辻 一郎、宇佐美伸、大村東生ら
「乳がん検診の全国集計2023(対象2020年度)」
日本乳癌検診学会誌 2024, 33(1) APR, 59-67.

全国学会(一般演題、ポスター、ランチョンセミナー)

1. 信岡隆幸
「高度肥満症に対する外科手術の現況」
第15回日本臨床栄養代謝学会 北海道支部学術集会 教育講演 2023.8.26(札幌)
2. 姜 裕奈、大岡静衣、西澤大輔、長谷川準子、中山京子、江畑裕子、照井 健、石谷邦彦、森野良蔵、横田美幸、小鹿恭太郎、一戸達也、池田和隆
「TMEM132C遺伝子rs7296262多型は、がん性疼痛及び術後痛に対するオピオイド鎮痛薬で誘発される嘔気の発現と有意な関連を示した」
第53回日本神経精神薬理学会年会 2023.9.7～9(東京)

地方会

1. 叶 亮浩、曾ヶ端克哉、大村東生ら
「構築の乱れを想定したDBTの描出特性について」
第21回日本乳癌学会北海道地方会 2023.9.16(札幌)

講演

1. 大村東生 「乳がんについて」 札幌武蔵女子短期大学 2023.5.29

2. 大村東生 「甲状腺の病気について」 札幌武蔵女子短期大学 2023.6.5
3. 大村東生 「乳がんについて知ろう」 ピンクリボン in SAPPORO 2023.9.24
4. 大村東生 「乳がんの知識、早期発見の大切さ」 三角山ラジオ放送局 全4回 2023.10.5～26
5. 大村東生 「乳がん検診と予防の大切さ」 ピンクリボントークランチ会 in 札幌 2023.10.22

座長

1. 大村東生 Breast Cancer Expert Seminar 2023 2023.4.23(札幌)
2. 照井 健 ランチョンセミナー1 “Integration of oncology and palliative care: A review of its history and directions for the future(オンコロジーと緩和ケアの統合: その歴史と未来への方向性)” がん緩和ケアに関する国際研究学会、第3回・第4回合同がん緩和ケアに関する国際会議 2023.4.27(札幌)
3. 信岡隆幸 一般口演71 デバイス(経腸栄養) 第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2023.5.10(神戸)
4. 信岡隆幸 JSPEN北海道支部 第8回NSTセミナー 特別講演 2023.10.1(札幌)
5. 大村東生 乳癌診療Update Seminar「転移性脳腫瘍診療 up-to-date」 2023.11.17(札幌)
6. 大村東生 Advanced Breast Cancer Online Seminar「進行再発乳がんの治療とSDM」 2023.11.29(札幌)
7. 信岡隆幸 口演07 がん(胃・食道) 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2024.2.15(横浜)

大会長

1. 照井 健 がん緩和ケアに関する国際研究学会、第3回・第4回合同がん緩和ケアに関する国際会議 2023.4.27～29(札幌)

司会等

1. 大村東生 With You北海道 あなたとプレストケアを考える会 ファシリテーター 2023.8.19(札幌)
2. 大村東生 ワーキングサバイバーズフォーラム「アビアランス」コーディネーター 2024.3.17(札幌)

歯科口腔外科

英語論文

1. Chisato Ouchi, Akira Hasebe, Ken-Ichiro Sakata, Jun Sato, Yutaka Yamazaki, Noritaka Ohga, Yoshimasa

Kitagawa. Genotypes and virulence-related activities of *Candida albicans* derived from oral cavity of patients in Hokkaido. Archives of Oral Biology. 2024 Jan;157

全国学会(ポスター、口演)

1. 大内千里、中村圭佑、坂田健一郎、佐藤 淳、大賀則孝、水越孝典、太子芳仁、北川善政
「北海道における口腔カンジダ症患者由来の *Candida albicans* の病原性と遺伝子型について」
第68回公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会
2023.11.10～12(大阪)

看護部

講義・助言

1. 青田美穂 「パリアティブケア:緩和ケア病棟でのケアの実際と多職種チームアプローチ」 札幌市立大学看護学部 2023.5.1(札幌)
2. 大串祐美子 「がん看護論:化学療法における看護」 札幌保健医療大学看護学部 2023.5.8(札幌)
3. 青田美穂 「終末期看護論:エンド・オブ・ライフケアの実際」 札幌保健医療大学 2023.5.11(札幌)
4. 青田美穂 「成人活動看護論I:緩和ケアが必要な人への看護」 札幌保健医療大学 2023.6.9(札幌)
5. 大串祐美子 「看護概論」 日本医療大学保健医療学部看護学科 2023.6.13(札幌)
6. 納谷さくら <JNAラダーレベルⅡ到達のための研修>基礎から学ぼうがん看護「がん患者と家族の意思決定支援」 北海道看護協会 2023.6.28(札幌)
7. 納谷さくら 緩和ケア看護学特論I 「社会的苦痛に対する緩和ケア」 東北大学大学院 2023.7.10(Web講義)
8. 二井矢ひとみ 「成人看護援助論演習Ⅱ:緩和ケアにおける終末期看護の実践」 北海道科学大学 2023.7.13(札幌)
9. 臼田里絵 「看護学の基礎:医療法人東札幌病院における看護実践の実際」 北海道文教大学医療保健科学部看護学科 2023.7.20(恵庭)
10. 大串祐美子 「成人看護学方法論Ⅳ:がん治療と看護」 北海道看護専門学校 2023.9.15. 9.19. 9.22(札幌)
11. 青田美穂 「成人看護学方法論Ⅳ:終末期にある人と家族の理解①、②、③」 北海道看護専門学校 2023.9.29. 10.20. 10.27(札幌)
12. 納谷さくら 緩和ケア看護学特論Ⅱ「臨死期の諸症状とケア」 東北大学大学院 2023.10.16(Web講義)
13. 二井矢ひとみ 終末期の患者を支える看護「身体症状のマネジメントとケア」「精神症状のマネジメントとケア・社会的・スピリチュアルケア」「家族・遺族ケア」「死亡時の看護」 北海道医療専門学校 2023.11.7. 11.17. 11.21(札幌)
14. 大串祐美子 「成人看護活動論Ⅱ:がん化学療法を受ける患者の援助」 札幌保健医療大学看護学部 2023.12.8(札幌)
15. 納谷さくら 成人看護学方法論Ⅳ「終末期にある人と家族の看護」「終末期・緩和ケアにおける倫理」「死の看取りの援助」 北海道看護専門学校 2024.1.16. 1.23. 1.30(札幌)

栄養課

全国学会(ポスター)

1. 幸田 滯
「がん患者に対応した栄養サポート食の導入が有効であった1例」
第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会(JSPEN) 2023.5.9(神戸)

表彰

1. 令和5年度北海道知事賞(優良給食施設) 2023.10.2

リハビリテーション課

全国学会(一般演題、ポスター、ランチョンセミナー)

1. 石川美哉子
「乳癌、多発骨転移、病的骨折患者の役割の再獲得に向けた作業療法の関わり～また犬の世話をしたい～」
第57回日本作業療法学会 2023.11.11～12(沖縄)

地方研究会・講演会

1. 石川美哉子
リハ・ケア座談会「担い手の思いと実践」
第10回全国介護・終末期リハ・ケア研究会 研究大会2023 in 東京 2023.10.8(東京・Web開催)

講義・助言

1. 庄子 翼 「老年期の作業療法の実際ーがん・終末期」 北海道大学 2023.6.30(札幌)

座長

1. 石川美哉子 「リンパ浮腫のメカニズムとアプローチ」 第53回北海道作業療法学会学術大会 2023.6.25(恵庭)

司会等

1. 石川美哉子 札幌がんのリハビリテーションE-CAREER研修会 2023.7.15～16(札幌・Web開催)

薬剤課

講義

1. 和泉早智子
「薬剤師のがん患者の疼痛への関わり」
第3回札幌病院薬剤師会 「がん専門薬剤師」セミナー
2023.10.20(札幌)

地域福祉センター

講義・助言

1. 平田麻紀子 「小樽市介護給付費適正化ケアプラン点検」 小樽市 2023.9.11(小樽)

2. 平田麻紀子 「令和5年度 地域包括支援センター職員研修
(初任者研修)」 北海道総合研究調査会 2023.10.3(札幌)
3. 平田麻紀子 「釧路市介護給付費適正化ケアプラン点検」
釧路市 2023.10.25～27(釧路)
4. 平田麻紀子 「令和5年度 地域包括支援センター職員研修
(現任者研修)」 北海道総合研究調査会 2023.11.2. 12.22
(札幌)
5. 平田麻紀子 「令和5年度 介護予防ケアマネジメント従事者
研修」 北海道総合研究調査会 2023.11.22(札幌)
6. 平田麻紀子 「稚内市介護給付費適正化ケアプラン点検」
稚内市 2024.1.29(札幌・Web開催)

7. 西本有香 「本別町介護給付費適正化ケアプラン点検」
本別町 2024.2.9(本別町)
8. 平田麻紀子 「足寄町介護給付費適正化ケアプラン点検」
足寄町 2024.2.27(札幌・Web開催)

診療部Ⅱ

講義

1. 多田正人
「特別講義」
北海道医療専門学校 薬業医療事務学科 2024.7.12

新任医師紹介

当院に新しく着任した医師を紹介します。



血液内科
松永 卓也

令和6年9月より、石谷邦彦理事長のご高配により、東札幌病院の血液内科医師として診療を行っております、松永卓也です。

私は昭和63年に札幌医科大学を卒業した後に札幌医科大学内科学第四講座(現:腫瘍内科学講座・血液内科学)に入局し、その後臨床腫瘍学を学び、血液がん、消化器がん、その他のがんに対する抗がん薬治療や造血幹細胞移植療法などについて研鑽を積んでまいりました。もちろん、血液がんに対する診療が最も好きで、若い時から一貫して続けてきました。

これまで、札幌医科大学附属病院、旭川赤十字病院、埼玉県立がんセンター、南カロライナ医科大学(実験血液学教室)、宮崎大学医学部附属病院、香川大学医学部附属病院などで勤務して、医学博士号、総合内科専門医、血液専門医、がん薬物療法専門医などの資格を取得し、造血幹細胞やその移植などの基礎研究をした経験もあります。

東札幌病院には札幌医科大学内科学第四講座在籍中に外来診療を担当させていただいた経験がありますが、常勤医師として勤務することは初めてです。「悪性腫瘍に係る専門病院」という特別な国の認可を受けている東札幌病院で、これまで十分に経験できなかった緩和ケアについて勉強して、私の血液がん診療の質を向上させたいと考えています。更に、東札幌病院開設以来理念として掲げられている「医療の本質は“やさしさ”にある」の意味を考えながら患者さんに寄り添った診療を行ってまいりたいと思います。

もちろん、私が担当させていただく血液内科診療、緩和ケア、およびその他の診療は、東札幌病院の職員の皆様全員のご協力がなければ成り立ちません。皆様のご協力が得られるように真摯に診療に取り組めます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人東札幌病院ニュースレター「窓」117号におきまして

3ページ下段:循環器外来 久野 篤史 医師

4ページ上段:乳腺外来 九富 五郎 医師 の紹介写真が入れ替わっておりました。

ご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げます。

窓編集担当者

石谷理事長の スキー 讃歌

その33

第一回石谷杯

—第3報—

(札幌医科大学スキー部アルペンスキーOB・OGカップ)

2024年1月21日(日)、いよいよ石谷杯本番である。東コーチのポールセッティングで9時から競技開始となった。この時ニセコモイワスキーリゾートには、3本のポールセットが張られた(“張る”という独特の表現である)。石谷杯の他に、オリンピック選手も輩出したニセコジュニアスキーチーム、そしてスキー板を代表とする用具製造のロシニョールのスキーチームのポールセットが並んだ。新谷さん曰く、1980年代、『私をスキーに連れてって』の映画、歌が流行った頃、ニセコモイワスキーリゾートも全斜面が日本全国の大学スキー部のポールで埋まっていたとのこと。またしても隔世の感である。

下記は札幌医科大学スキー部のホームページに掲載された石谷杯の報告である。



【第1回石谷杯開催しました!】

こんにちは! 今年度アルペン部門のチーフを務めております、医学部3年の清水達矢と申します。

この度1月20日、21日の2日間に渡り、ニセコモイワスキー場にて石谷杯(OB戦)を実施いたしました! 20日は現役部員とOBの先生方合同でGSポール練習です! 先生方と一緒にスキーができ、部員も大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。

夜はウッドベッカーズで前夜祭です。美味しい晩ごはんを食べた後はみんなお楽しみの明日の大会の景品発表会です! 今回の石谷杯での景品は以下になります。超豪華景品にみんな大盛り上がりです。

その後は現役部員と先生方で飲み会です。筆者は小山健司先生にスキーの動画を見てもらい、たくさんアドバイスをもらいました! いつもお世話になっ

ている先生方とたくさん交流ができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました!

2日目はいよいよ本番、石谷杯開催です! まずはOBの先生方の出走です(※動画掲載)。前走を務めてくださったのは、今回の主催者石谷先生。華麗な滑りを披露してくださいました! そして、OBの先生方も続々出走していきます。今回のOB戦第1位の小山健司先生の滑りです。また、今回セッターとして帯同してくださった東コーチ、そしてウッドベッカーズの新谷さんご参加くださいました!

続いては現役部員の出走です。豪華景品を賭けて、本気の勝負が始まります。今シーズンからスキーを始めた1年生もここまで成長しました!

以下リザルトです。

bib	name	run1	run2	total
1	東コーチ	—	27.74	—
4	小山健司先生	28	27.11	55.11
5	石谷先生	32.93	DNS	32.93
6	山崎先生	34.2	DNF	34.2
7	新谷さん	32.6	DNS	32.6
8	矢嶋彰子先生	45.37	40.78	1.26.15
9	伊藤智子先生	34.78	35.35	1.10.13
10	由崎先生	31.55	31.49	1.03.04
11	小池先生	28.8	28.47	57.27
12	矢嶋先生	33.95	34.37	1.08.32
13	水野先生	27.93	28.05	55.98
14	家里先生	29.66	28.67	58.33



▲青のワンピース姿の石谷理事長



▲札幌医科大学スキー部
ホームページ

レースの後はウッドペッカーズで表彰式です。いただいた景品で、部員一同ますます練習に励んでいきます！

最後に、今回の石谷杯開催にあたり多くの先生方のご尽力を賜りました。改めて厚く御礼を申し上げます。普段ご支援をいただきながら活動している私たちにとって、先生方と共に練習をして、レースをして、普段の私たちの成果を先生方にお見せる機会をいただきましたことに、本当に感謝しております。東医体まで残り1ヶ月と少しです。悔いのないシーズンを過ごせるよう、部員一同ひたむきに努力していきます。今後も変わらぬご支援を何卒お願い申し上げます。この度は誠にありがとうございます。

2023年度アルペン部門チーフ 清水達矢



文中の「東医体」とは東日本36大学が参加する「東日本医科学生総合体育大会」の略称である。日本国内では、国体に次いで「西医体」とともに2番目の参加者数(15,000人)を誇っている。その冬季部門スキー競技大会の2024年は第66回にあたり、菅平パインビークススキー場で3月4日～10日の開催の予定と聞く。

石谷杯もその練習の一環であり、その成果を期待している。「東医体」スキー競技大会には毎年600人以上の参加があり国体出場の強者も数多く居るレベルである。札幌医科大学はこれまで3回の総合優勝をしている。「東医体」に向かったの厳しい練習の5～6年間は生涯を共にする仲間をつくり、また「東医体」で出会う他大学の選手達との友情は医師になっても続くことになる。このネットワークは国内に留まらない。例えば私の専門であるがん医療関係で二つのエピソードを紹介する。一つは東札幌病院主催で2014年に開催した「第1回がん緩和ケアに関する国際会議」にノルウェーから参加したシュタイン・カーサ教授とのエピソードである。

カーサ教授はノルディックスキーの国際選手であり、我らスキー部ノルディックスキーOBの照井先生と札幌オリンピックの会場・白旗山競技場を一緒に走っている。彼はアルペンスキーの勇者インゲマル・ステンマルクと親友であったという。カーサ教授は2023年の第3回の会議でも講演し、その座長を照井先生が務めている。

今一つはアメリカ臨床腫瘍学会(ASCO: American Society of Clinical Oncology)の重鎮ピーター・ポール・ユー教授とのエピソードである。2023年1月、ユー教授から「娘のキャサリンがパウダースキーを楽しむためにニセコに行くので世話を頼む」との依頼があった。もちろんお受けし、仲間5人と来道したキャサリンとニセコで一緒に滑ったが、意外にも皆、見事な腕前であった。それもそのはず、ユー一家は、2002年に冬季オリンピックが開催され、2034年にも開催予定のソルト・レイク・シティに住んでいて、周辺には多くのスキー場があるという。キャサリンたちはそのスキー場のインストラクターであった。皆、十分にニセコを楽しんだことであろう。ユー教授から「来年は家族でニセコへ行く」とのメールがあった。スキーの仲間は国籍を問わず、スキーが友情の絆を広く長く繋いでいくのである。



◀キャサリンたち



シュタイン・カーサ教授▶

外 来 医 師 ス ケ ジ ュ ー ル

★救急対応

(2024年9月1日～)

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午 前	9:00～12:00	1診 (内科初診)	村上★	日下部★	村上★	村上★	交代制	交代制★ (内科初診／再診)
		2診	石谷 (一般内科)	石谷 (一般内科)	石谷 (一般内科)	三原 (一般／腫瘍内科)	三原 (一般／腫瘍内科)	出張医 (内科初診／再診)
		3診 (消化器内科)	日下部	伊藤	渡邊	長岡	日下部	
		4診 (循環器内科)	高木	古谷	高木	秋津	秋津	
		5診	梅田 (呼吸器内科)	奇数週 出張医 (整形外科)	出張医 (呼吸器内科)	佐藤(健) (一般／血液内科)	伊達 (呼吸器内科)	
		6診 (一般外科)	信岡	信岡	久慈	信岡	久慈	交代制
		7診	久村 (心療内科)	前田 (乳腺外科)	前田 (乳腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	照井 (一般／糖尿病内科)	
		8診(11:00～) (発熱者・必要時に対応)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		9診			佐藤(昇) (病をよく識る外来)		(セカンドオピニオン外来)	
		放射線治療	坂田	坂田		坂田	坂田	
		内視鏡	安保	渡邊	佐賀	出張医	伊藤	交代制
		腹部エコー			三谷	須釜		
		歯科・ 歯科口腔外科	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	交代制

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午 後	14:00～17:00	1診(13:30～) (内科初診／再診)	三谷	出張医	出張医	須釜★	三谷	休 診
		2診	松永 (一般／緩和ケア内科)	佐藤(健) (一般／血液内科)	町野★ (一般／緩和ケア内科)	町野 (一般／緩和ケア内科)	出張医 (一般／緩和ケア内科)	
		3診	佐賀★ (消化器内科)	渡邊★ (消化器内科)	松永 (一般／血液内科)	伊藤 (消化器内科)	長岡★ (一般／消化器内科)	
		4診	秋津 (循環器内科)	偶数週 久野 (循環器内科)	照井 (一般／糖尿病内科)	高木 (循環器内科)	出張医 (脳神経内科)	
		5診		梅田 (呼吸器内科)	井須 (整形外科)	梅田 (呼吸器内科)		
		6診 (一般外科)	久慈★	久慈	久慈★	信岡／久慈★	信岡	
		7診	里見 (一般外科／乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	照井 (一般／糖尿病内科)	前田／第2週 九富 (乳腺外科)	
		8診						
		内視鏡室				頭頸部外科出張医		
		放射線治療	坂田／出張医	坂田／出張医		坂田／出張医	坂田／出張医	
		内視鏡	伊藤	佐賀／伊藤	長岡	出張医	佐賀	
		歯科・ 歯科口腔外科	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	

※8診午前は発熱者・必要時に対応(当日予約のみ) 月～金曜日11:00～

※6診午後の外科外来は、手術等により診療時間が変更となる場合があります。

※外来受付時間 午前の外来 月～土曜日 11:30まで 午後の外来 月～金曜日 16:30まで

※土曜日は交代制となっております。詳細はお問い合わせください。

※緊急対応等に備え、内科医師1名は13:30から待機いたします。

※当院では、待ち時間短縮のために予約制を導入しております。予約外診療も
行っております。詳細は受付にお問い合わせください。

※病をよく識る外来(要予約) 水曜日9:00～12:00 担当医師:佐藤(昇)

※セカンドオピニオン外来(要予約) 金曜日9:00～12:00

※石谷外来 火曜日9:00～11:00

※放射線治療外来は、地下1階診察室です。



●交通のご案内
地下鉄東西線「東札幌駅」より
徒歩5分

駐車場について

当院の駐車場はゲート式になっております。駐車場ご利用の方は、受付または事務室にて駐車券をご提示ください。ご利用料金は以下の通りです。

ご利用料金

外来受診・お見舞いなど、当院ご利用の方は、3時間無料です(以後30分50円)。

医療法人東札幌病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(一般病院2 3rdG: Ver.2.0)の認定を受けています。

■認定期間
2020年9月26日～2025年9月25日



日本医療機能評価機構
認定第 JC669 号

一般病院2 3rdG: Ver.2.0

Higashi Sapporo Hospital

医療法人 東札幌病院

〒003-8585
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
電話 011-812-2311 (代表)
FAX 011-823-9552
E-mail: info@hsh.or.jp
HP: <https://www.hsh.or.jp>

東札幌病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重致します。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名・検査結果、受ける処置やケアの内容等について十分な説明を受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援されます。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育をうけることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

東札幌病院を受診される皆様に御協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝え下さい。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問して下さい。
3. 治療やケアの方針を決めるときには、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加して下さい。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さいようお願いいたします。
6. 東札幌病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 東札幌病院では各階に提案箱を設置しております。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくご利用下さい。